

「大学職員力」点検評価試験（基礎力向上コース）要項

大学職員力とは

2040年の予測が発表されるなど、少子化に伴う18歳人口の減少傾向が続くなか、大学を取り巻く社会環境は急速に変化しています。教育の質保証、大学の機能別分化と大学間連携の促進、教育研究機能の充実のための組織の整備、経営基盤の強化など求められており、これらの課題解決に向けた改革なくして、大学とりわけ私立大学は整理される時代に遭遇しています。

大学がそのアイデンティティを確立しつつ、さまざまな改革に取り組むにあたり、それぞれの大学で自助努力と自己責任によって自律的な経営を支える人材の養成も急務の課題となっています。近年の学校教育法と大学設置基準の改正によって職員の役割や任務がますます重要であると見直されました。

大学職員サポートセンターでは、高度化・複雑化する大学業務を計画・実行・点検して再構築するために必要な基本的な知識と専門性を保有し、かつそれを経営管理に有効に発揮できる事務職員の総合的なマネジメント能力を「大学職員力」と定義しました。そして、その育成を図る一助として「大学職員力」点検評価試験を実施しています。これにより大学の活動を支える事務組織のレベルアップが図られるでしょう。

「大学職員力」点検評価試験（基礎力向上コース）とは

2013（平成25）年から毎年度実施してきた「大学職員力」判定試験の趣旨を一層充実するために今年度から「大学職員力」点検評価試験と名称変更しました。

「基礎力向上コース」は、入職10年程度までの大学職員としての基礎力の向上を希望する方々を対象に、後述する3分野についての体系的な基本知識の保有度を点検評価するものとして実施します。試験を通して参加された方々が得意な分野と苦手な分野に気付き、今後の自己研鑽とOJTを通じた大学職員力の一層の向上に役立つことを目標としています。また、参加者相互のネットワークを作る機会を提供したいとも考えています。

【試験の内容】一

この試験では、業務基盤および環境変化を理解する上でも「大学関連法規」「人事・財務」「経営管理（マネジメント）」の3分野を重視し、それぞれの分野における基本知識の保有度・認知度向上に繋がるプログラムを用意しています。

1. 大学関連法規

大学運営において個々の業務のレベル・内容はさまざまですが、これらを突き詰めていけば最終的には学校教育法、私立学校法、大学設置基準等の関連法規に行き着きます。換言すれば大学運営業務の根底には大学関連法規との相関関係が存在すると考えられます。大学関連法規を学ぶことは大学の法的基盤の理解を深めることに役立ちます。

2. 人事・財務

「組織は人なり」「経営は人事に尽きる」と言われるように、人事に関する施策や労務管理は大学経営を大きく左右します。学校財政の中心をなす人件費への影響が大きいなど大学職員にとって、とりわけそのキャリア形成をめざすには人事についての理解が不可欠です。

また、一段と厳しさを増す私学経営のなかで、教育研究水準を維持・向上させていくためには財政基盤の強化が不可欠です。それには、私学財政の仕組みや特性を理解し、その上で効果的な予算制度の確立、財務分析を通じた財務改善、さらには学費依存体質からの脱却などといった財務戦略が必要です。「ヒト」「モノ」と並んで重要とされる「カネ」について、一定の知識を持つことは、単に管理・財務

部門の職員だけではなく、大学職員の誰もが必要なことです。

3. 経営管理（マネジメント）

大学は典型的な非営利組織であり、利益追求を目的とする企業と異なります。大学職員は社会的使命を有する大学という組織を理解できる見識を持ち、教育・研究や社会貢献の意味がわかることが求められています。その上で組織活動を合理的、効率的に行うためには、大学の諸活動を分担し、教職間で協力しなければなりません。独特な仕組みと組織文化をもつ大学では、そのマネジメントや経営管理の手法は企業と異なる点が多く、大学独自のマネジメント、経営管理を学ぶ意義は大きいと考えます。

以上の3分野について、①事前学習→②講義→③点検評価試験→④解説、自己点検評価→⑤振り返りの討議といったプログラム構成で実施します。

単に試験を行うだけでなく、試験をきっかけにより深く意欲的に学ぶ機会を提供することを重視します。参加される皆さんにはプログラムを通して、主体的に基本知識の保有度を点検評価していただきます。

私たちは、大学や大学団体の役・職員等としてさまざまな経験を積んだ者の集まりです。この計画を検討する議論の過程では「単に知識だけあってもだめだ」という意見もありました。しかし、「私立大学はこれから、場合によっては誰もが経験したことのない厳しい時代を迎えるかもしれない。その時には、まずはどんな業務に就いていても、大学職員として一定程度の基本的な知識を保有していることが重要なのではないか。そのことが各大学の建学の精神とそれに基づく経営方針、アイデンティティ等を確認し、大学改革の共通認識をもつことに繋がるのではないか」との見解に至りました。

そして、そのために「参加者一人ひとりが、現状における基本知識の保有度を知り、次のステップに繋がる気づきを得てもらおう」との趣旨から「判定試験」という名称で創案、実施してきました。

しかし、この名称については、さまざまな受け止め方があり、私たちの考えるところをより明確にしようとの判断から、今年度から改称することとしました。「試験」は選別を目的とするのではなく、学修の到達度の評価に使います。このプログラムを通じて基本知識の保有度を自ら点検評価してもらい、より広く、より深く学ぶこと、それを業務に活かす姿勢、意欲に結びつけるきっかけとしていただきたいと期待しています。

今回の「基礎力向上コース」は、入職10年程度までの方を対象に実施します。参加者の皆さんは今後さらに人事異動等でさまざまな業務を経験されると思いますが、その所々で、この試験が今後活かされる機会があると確信しております。

【試験の活用】—個別のご相談に応じるアフターケアを行います！

前述したように、大学職員サポートセンターは、大学や大学団体の役員・職員等として多様な経験を積み、大学法人経営や教育・研究・社会貢献の第一線で活躍してきた人材が集い、設立されたNPO組織です。私たちの知識・経験・ノウハウを若い世代の職員に引き継ぐことも大切だと考えています。その一環として、当日の点検評価とは別に、「保有度チェック」として、（あなたの）強化が望まれる分野（事柄）は、ここです」といったメッセージをお届けします。さらに「どういう方法で学んだらよいか」等のお問い合わせがあれば、個別にご相談に応じるアフターケアを行います。

ご希望・ご要望等があれば当センターにお気軽にお問い合わせください。参加者の皆様と交流を持ち、一人ひとりをサポートしたいと考えています。

多くの方のご参加をお待ちしております！

大学職員サポートセンターでは、「職員力」をさらに向上し、有為な幹部職員を目指す方々を対象に「大学職員力判定試験（実践力向上コース）」を11月15日、16日に実施予定です。同コースにつきましては改めてご案内しますので、併せて参加をご検討ください。